

## シクラメンホコリダニの寄生植物と薬剤の防除効果について

堀 切 正 俊

(鹿児島県農業試験場)

先に県内の温室栽培でシクラメンホコリダニがシクラメン、シネリア、セントポーリアに発生被害を生じたことを報告したが、その後室内で接種試験の結果、数種の植物にも寄生被害を生じることが判った。一方室内及び温室で少規模ではあるが薬剤試験を実施したので、その結果の概要について報告する。本調査を行うに当り種々御助言頂いた農業技術研究所、伊戸泰博技官(現草地試験場)に謝意を表する。

## 1. 接種試験

1977年2～3月にかけて室内でシネリア、セントポーリア、フクシャ、クリナンセマムノースポーレ、クリナンセマムルチューレ、イチゴ、カルセオリア、ポリアンサにシクラメンの被害蕾を、イチゴは芯葉、蕾、その他は何れも蕾にそれぞれ接種し、25℃の定温器内においた。その結果、シネリア、セントポーリア、フクシャ、クリナンセマムノースポーレ、クリナンセマムルチューレで寄生増殖し被害を生じたが、イチゴ、カルセオリア、ポリアンサでは寄生を認めることが出来なかった。被害は、クリナンセマム、デージーでは、葉の矮化、蕾の枯死、花卉の奇形あるいは消失、フクシャでは芯葉の生育が阻害され芯止り状になった(写真-1)。

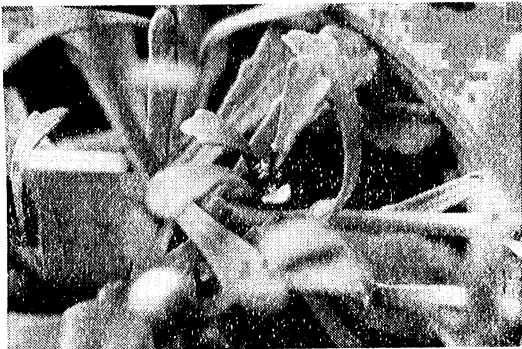


写真-1 シクラメンホコリダニによるクリナンセマムルチューレの被害(蕾の枯死)

## 2. 防除試験

従来、ケルセン乳剤が現在有効な唯一の薬剤と言われて来たが、1977年1～3月にかけて実施した試験の結果第1～3表でも明らかなごとく、マイトサイジンB乳剤、キラカル水和剤、プリクトラン水和剤などもほぼ同程度に有効なことが判った。

第1表 室内試験 1区3花3反復

薬剤名 (%)	使用濃度(倍)	補正死亡率(%)
ケルセン乳剤 40	1,500	97.4
オマイト乳剤 60	1,500	88.6
マイトサイジンB乳剤 30	1,500	94.3
モレスタン水和剤 25	1,500	77.9
プリクトラン水和剤 50	1,500	100.
キラカル水和剤 40	1,500	92.3

第2表 ポット試験 1区5花蕾

薬剤名 (%)	使用濃度(倍)	死亡率(%)	
		試験1	試験2
プリクトラン水和剤 50	1,500	89.7	92.3
モレスタン水和剤 25	1,500	78.8	67.0
モレスタンFD 10	444g/10a	76.4	87.1
ケルセン乳剤 40	1,500	—	40.0

第3表 ポット試験 1区30鉢

薬剤名	使用濃度(倍)	異常株率(%)	被害	
			葉	花卉
プリクトン水和剤	1,500	10.0	—	+
モレスタン水和剤	1,500	63.3	—	+
モレスタン+	1,500	41.7	—	+
プリクトン水和剤	1,500	33.3	—	+
ケルセン乳剤	1,500	33.3	—	+

しかし、着花してからの防除は完全な効果が期待できず、しかも花卉に被害を生じる事例もあるので、発生初期に被害株の除去、薬剤散布など徹底して実施する必要がある。